

県下最大級の規模を誇る難攻不落の中世山城
 矢筈城跡(高山城跡) 附伝草苅景継墓所



指定区分	県指定史跡
読みかた	やはすじょうあと(たかやまじょうあと) つけたりでんくさかりかげつぐぼしよ
所在地	津山市加茂町山下・知和
指定年月日	平成18年3月17日
解説	<p>戦国武将の草苅衡継が天文元年～2年(1532～33)にかけて築城した。東西1,600m、南北500mで県下最大級の壮大な規模を誇る中世山城。城内には石垣、礎石、土塁、石塁、堀切、狼煙場等の遺構が良く残っており、矢筈山麓北西の大ヶ原(だいがはら)には「内構」と呼ばれる城主草苅氏の大規模な居館跡が、また北東の山下(さんげ)には第二代城主草苅景継の墓所がある。戦国大名の毛利氏に属した第三代城主の草苅重継は、宇喜多氏や羽柴秀吉等の軍勢からたびたび攻撃を受けたが、そのつど撃退した。毛利氏の要請によって重継が退城するまで、築城以来一度も落城することの無かった難攻不落の堅城として知られている。</p>
アクセス方法	JR美作河井駅から徒歩90分
公開状況	自由
設備	
備考	矢筈城跡保存会により、パンフレットの発行、登山会の実施、説明看板等の設置、登山道の草刈りなどが行われている。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	矢筈城跡(高山城跡) 附伝草苅景継墓所
よみかた	やはずじょうあと(たかやまじょうあと) つ けたりでんくさかりかげつぐぼしよ
しよざいち (所在地)	津山市加茂町山下・知和
していしたひ (指定した日)	平成18年3月17日
せつめい	岡山県(おかやまけん)で最大級(さいだい きゆう)の山城(やまじろ)です。東西(とう ざい)は1600メートル、南北(なんぼく)は 500メートルもあります。この山城は戦国時 代(せんごくじだい)に築(きず)かれてから、 戦国武将(せんごくぶしょう)のたび重 (かさ)なる攻撃(こうげき)を受(う)けて も、そのつど撃退(げきたい)しており、一 度(いちど)も攻(せ)め落(お)とされること はありませんでした。